

資料編

社会科学学習指導案

1 単元名 自動車をつくる工業（大単元名 工業生産を支える人々）

2 考察

(1) 児童観

本単元の学習の中心となる自動車について、本学級の児童においては、一家に2台、3台と、自動車を複数所有する家庭がほとんどで、ドライブや旅行はもとより、ちょっとした買い物や習い事の行き帰り、友達の家遊びに行く場合でさえも自動車で送り迎えをしてもらうという児童がいる。しかし、自動車について意識をしたり考えたりしたことのある児童は少なく、一部の男子は非常に高い興味をもっているが、大方の児童は、自分の家にある自動車のメーカー名、車名も正確には覚えていない。生活を豊かにするのはもちろんのこと、もはや自分たちの生活とは切り離して考えることができないものにとらえているにもかかわらず、ほとんど意識することがない状況であるといえる。

また、職業において、農業に従事している保護者は少ないもの、田園地帯の中心にある本校の児童にとって、工場の様子を目にする機会はありません。生活科や社会科、総合的な学習の時間においても、これまでに工業を中心として学習に取り組んできたことはない。したがって、児童の工業に関する知識や理解は低いものと思われる。また、現在、児童の身の回りには工業製品があふれているが、電気製品や自動車などの工業製品については、ふだん何気なく利用しているだけで、それを生産したり選んだりする人々の姿を意識することは少ないと思われる。

一方、本児童は、前学年においては「省エネ推進事業」の中心となって学習を進めてきており、家庭に協力をいただいて「省エネナビ」を設置して省エネに取り組むなど、具体的な環境学習の経験により、省エネや環境に対する意識はとても高いと言える。また、学習方法として、資料を使って課題を調べたり調査をしたりする活動を好み、これまでも、学習したことを新聞作り等の表現方法を用いて工夫して上手にまとめ上げてきた。

そこで、本単元においては、児童の環境に対する意識なども重視しながら、課題選択学習を取り入れ、学習したことをリーフレットに表現していく。これらの方法を通すことにより、児童の興味・関心を喚起し、意欲的に学習を進められるようになることを考える。また、学習の途中に選択した課題についての発表や話し合いを入れたり、出来上がったリーフレットを発信して感想や意見、アドバイスをもらったりすることを通して、今後の自動車社会のあり方について考え、学習したことをこれからの生活や学習に生かしていこうとする意欲につながるものであると考える。

(2) 教材観

本単元では、自動車作りに携わる人々が、消費者の多様な願いや環境面などの社会的な要請に応えるために、様々な努力や取り組みをしていることを学習する。この学習を通して、工業生産に従事している人々の工夫や努力、これらの産業が国民生活を支える重要な役割をしていることや、国土の環境と深いかかわりをもっていることを理解できる。また、我が国の産業の発展に関心をもてるようになると考え、本単元を設定した。

自動車は、現代社会からは切り離して考えることのできない重要な工業製品であり、児童にとっても大変身近な存在である。また、自動車は、様々なユーザーのニーズに応じて日進月歩の改良が続けられている。このような自動車を工業製品の代表として取り上げることは、児童にとっては親しみやすく、激しく変化していく現代社会に対応して生きる力を養うには最適な題材であると考えられる。

また、自動車工業においては、ユーザーの求めるものは様々であり、社会的な課題も解決していかななくてはならない立場にもある。このような立場を理解するには、まずは自分の興味・関心のある課題を選択して学習し、その後に、発表会や話し合いをもち、他の課題について知っていくことが有効であるとする。さらに、学習したことをリーフレットに表現し、それを発信して感想や意見をもらうことは、様々な考えを理解していくことに有効であるとする。

(3) 指導方針

- ・工場見学を効果的に行い、自動車づくりに関わる人々の努力や工夫、願いについて、より具体的に捉えられるようにする。
- ・調べる学習や発表を通して、主体的に学習できるようにするとともに、押さえるべき知識、基本的知識は確実に指導していく。
- ・実際に自動車を運転する保護者等との連携を密にする。
- ・興味関心を重視した課題選択学習をとおり、意欲的に学習を進められるようにする。
- ・学習したことを、自分自身を自動車工場の経営者に見立ててリーフレットに表現しながら学習することにより、学習に対する意欲を高めるとともに、考えを深めさせるようにする。
- ・リーフレットを発信し、感想や意見、アドバイスをもらうことにより、学習したことを今後の学習や生活に生かしていこうとする意欲につなげる。

3 指導目標と評価規準 略（報告書に記載のため）

4 指導計画 略（報告書に記載のため）

1 本時の学習 第1時

(1) ねらい

これからの学習の流れを理解し、学習のめあてをもつ。

(2) 準備

自動車のカタログ、見本のリーフレット、ワークシート①

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 10分	○普段自分たちはどんなときに自動車を利用しているか。自動車のよい点や悪い点等、自動車や自動車社会について、知っていることや思っていることを発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習に対する意欲を喚起するようにする。 ・自動車なしの生活は考えられないにもかかわらず、自動車に対して興味をもっていない現状をおさえるようにする。 	
調べる 20分	○持ち寄った自動車のカタログを見合い、カタログの構成や、どんな点をアピールしているかを調べ、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図、表、文字の量や書き方など、見やすさについて、リーフレットという観点から捉えられるようにする。 ・安全面、環境への配慮、乗りやすさや福祉車両などに着目できるようにする。 	
ま	○これから「自動車をつくる工業」について学習していくことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車工業に従事する人々の様々な努力や工夫、これからの自動車産業について考えていくことを押さえる 	

と め 15 分	<p>○これからの学習の流れについて理解する。</p> <p>○次時は、「人々はどんな自動車に乗りたいと思っているのか」という調査をもとに話し合いをし、自己の課題を決定することを確認する。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が自動車工場の経営者になったつもりで学習していくこと。学習内容を3枚のリーフレットにまとめていくことを確認する。 ・次時までには、身近な人に対して聞き取り調査をしていく。(ワークシート①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習の流れを知り、次時への学習意欲がもてる。(関)
-------------------	--	--	---

※ 自分の自動車会社の名称の決定。時間があれば表紙の作製。

※ 聞き取り調査は宿題 (ワークシート①)。

本時の学習 第2時

(1) ねらい

興味ある課題を選択し、進んで調べようとする意欲をもつ。

(2) 準備

聞き取り調査の結果 (ワークシート①)、見本のリーフレット、ワークシート②、
黒板掲示用短冊

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つ か む 5 分	○前時の学習を思い起こし、本字は自己の課題を決定することを確認する。	・リーフレットの2枚目にまとめていく内容であることを確認する。	
調 べ る 30 分	<p>○「人々はどんな自動車に乗りたいと思っているのか」(ワークシート①)の調査の結果をもとに、話し合いをする。</p> <p>○「安全な自動車」、「だれにでも運転できる自動車」、「環境にやさしい自動車」「安く買える自動車」その他、自動車産業の今日的課題の中から自分の興味のある課題を選択し、自己の課題とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類の結果、選択肢となる課題をワークシート②に書き込む。 ・その中から、自己の課題を選択し、選択した理由もあわせてワークシート②に書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の結果を短冊に書き、分類をしていく。 ・結果が限られてしまう場合には、児童の意見を取り入れて、いろいろな考えを引き出したい。 ・「安全な自動車」、「だれにでも運転できる自動車」、「環境にやさしい自動車」は選択課題として設定する。そのほかにも、今日的課題であるものは設定する。「レース、スピード」等が出た場合には、今回の学習とは観点がちがうことを確認する。 ・自分の興味・関心、経験等を十分に考えて選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで話し合い、自分の興味・関心、経験等を十分に考えて課題を選択することができる。(思)(関)
ま と め 10 分	○選択した課題を自分で調べ、リーフレットの2枚目にまとめていくことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる方法、資料が考えられれば考えておくようにする。 ・早く決定すれば、課題名だけでもリーフレットに書かせ、意欲付けをしたい。 	

本時の学習 第3時（60分授業）

(1) ねらい

- ・自動車工場の様子や、そこで働く人々の努力や工夫を調べ、理解する。
- ・分からないことやもっと深く知りたいことを明らかにする。

(2) 準備

教科書、資料集、ワークシート③、リーフレット作成用カード、はさみ、ワークシート④

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 5分	○本時は自動車工場の様子や工夫、努力（リーフレットの1枚目）について学習していくことを確認する。	・本時の学習と工場見学により、リーフレットの1枚目を作製すること。工場見学での自分の視点を明らかにすることをおさえる。	
調べる 45分	○自動車の生産過程や工場の様子、関連工場との関係、働く人たちの工夫や努力、願いについて、資料を調べていく。 ○重要事項をワークシート③を利用してまとめる。 ○「環境にやさしい工場」「働く人々に優しい工場」について、自分の工場という立場から考える。	・教科書のP64から67までと、P73から75を一斉学習。特に重要な点はワークシート③で押さえる。 ・「環境や働く人に優しい工場」について、P68, 69を参考にまとめる。自分の工場らしさを出せれば出させるようにする。 ・一人で調べるのが困難な児童はグループで調べるようにする。 ・個々の学習においても、自己の課題を意識できるような助言に心がける。 ・工場見学で今日解決できなかったことを解決させることができることをおさえておく。	・重要事項や要点をまとめることができる。(知) ・自分の考えを書くことができる。(思)
まとめ 10分	○今日の学習で疑問に思ったことやもっと詳しく知りたいと思ったことを、工場見学の時に見たり質問したりできるようにする。	・工場見学で詳しく知りたいことや質問したいことをワークシート④に記入することをおさえる。	・疑問点や詳しく知りたいことを明らかにすることができる。(知)(思)

本時の学習 第4時（60分授業）

(1) ねらい

- ・自己の課題について意欲的に調べ、理解する。
- ・分からないことやもっと深く知りたいことを明らかにする。

(2) 準備

自動車のカatalog、個々の資料、ワークシート④、リーフレット作成用カード、はさみ

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つか	○本時は、自分の選んだ課題（リーフレットの2枚目）について学習していく	・重要だと思ふところを、予め準備しておいたリーフ	

む 5 分	ことを確認する。	レット作成用のカードに書き留めることを確認する。 (リーフレットに貼り付けていくのは工場見学後の作業になることを確認する)	
調 べ る 45 分	○自動車のカタログや持ち寄った資料を参考に、自分の課題について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ課題をもつもの同士がグループとなり、情報交換をし、協力しながら調べられる態勢を整える。(リーフレットを作るのは個々) ・調べた結果はカードに書き込んでいくようにする。工場見学で新たな発見をすることもあるので、カードは借り留め、レイアウトを考える程度で糊付けはしないことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題について意欲的に調べることができる。(関) ・自己の課題についての重要事項を見付け出すことができる。(知)(思)
ま と め 10 分	○今日の学習で分からなかったことは、工場見学の時に見たり質問したりできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ課題を調べている児童は、質問が重複しないように予め質問を出し合い、質問者を決めておく。(ワークシート④に記入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問点や詳しく知りたいことを明らかにすることができる。(知)(思)

本時の学習 第5、6時(富士重工業、工場見学)

(1) ねらい

- ・工場見学を通して、自動車工場の様子や、そこで働く人々の努力や工夫を実際に知る。
- ・自分の課題について、分からなかったことを明らかにする。

(2) 準備

ワークシート④、筆記用具

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つ か む	○見学に際しての注意点を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・危険となる行為や工場に迷惑のかかる行為は慎むこと。 ・学習ポイントを見逃さないこと。 	
調 べ る	<ul style="list-style-type: none"> ○工場の見学をする。 ○工場の人のお話を聞く。 ○質問をする。 ○ワークシート④をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習でた疑問点や詳しく知りたいこと(ワークシート④)を、見学や工場の人のお話を通して解決するように見学を支援する。 ・見学で解決できなかった点は、質問をして解決するようにする。 ・見学で解決したことを、分かりやすくワークシート④にまとめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりの行程や、人々の努力や工夫を理解することができる。(知) ・自分の知りたかったことを見学を通して知ったり、質問をして解決したりすることができる。

			(知) (表)
まとめ	○今日あらたに分かったことで、リーフレットに書き足すことがあるかを考える。	・外出先なのでカードを作ることはできないが、チェックをしておくように伝える。	

本時の学習 第7時

(1) ねらい

自動車工場の様子や、そこで働く人々の努力や工夫を、リーフレットに効果的に表現する。

(2) 準備

リーフレット、リーフレット作成用カード、糊、はさみ、ワークシート④

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 5分	○本時は、自分の自動車工場の様子、努力や工夫などについて、リーフレットの1枚目に表現していくことを確認する。	・今までの学習や工場見学で知ったことを生かして、自分の工場として表現することを確認する。	
追究する 35分	○第3次の学習及び工場見学での学習を生かして、工場の様子や努力、工夫などについて、リーフレットの1枚目にまとめていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次の学習に、工場見学で学習したことを加えることを(ワークシート④)伝える。 ・糊付けを急がずに。レイアウトや重要度を考えて仮止めをし、修正をしながら仕上げていくように留意する ・貼りきれない場合には、カードを小さくしたり、重要ではないものを破棄したりするなど、個に応じて支援をする。 ・場合によってはグループ活動とする。 ・早くできあがった児童には、まだ出来上がっていない児童のお手伝いをさせるか、次時の活動に入るように指示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作りに意欲的に取り組んでいる。(関) ・学習したことを、工夫して効果的にリーフレットに表現できる。(表)
まとめ 5分	○次時の学習の確認をする。	・次時は、自分の課題について調べたことをリーフレットの2枚目に表現していくことを知らせる。	

本時の学習 第8時

(1) ねらい

自己の選択した課題を、工夫をして効果的にリーフレットに表現する。

(2) 準備

リーフレット、リーフレット作成用カード、糊、はさみ、ワークシート④

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 5分	○本時は、自分の選択した課題について、リーフレットの2枚目に表現していくことを確認する。	・今までの学習や工場見学で知ったことを生かして、自分の工場で生産されている自動車として表現することを確認する。	
追究する 30分	○第3次の学習及び工場見学での学習を生かして、自分の課題について、リーフレットの2枚目にまとめていく。	・同じ課題をもつもの同士がグループとなり、情報交換をし、協力しながら作製できる態勢を整える。 ・糊付けを急がずにレイアウトや重要度を考えて仮止めをし、修正をしながら仕上げていくように留意する。 ・貼りきらない場合には、カードを小さくしたり、重要ではないものを破棄したりするなど、個に応じて支援を考える。	・リーフレット作りに意欲的に取り組んでいる。(関) ・調べたことを、工夫して効果的にリーフレットに表現できる。(表)
まとめ 10分	○発表用の原稿を書く。	・次時には、自分が調べ表現した自動車について発表することを知らせ、その原稿を書かせる。 ・よい点ばかりではなく、結果として悪くなってしまう点も考えられるようにしたい。 ・グループで協力をしながらの発表も可とする。	

5 本時の学習 第9時

(1) ねらい

それぞれが選択した課題を発表しあい、これからの自動車について考えを深める。

(2) 準備

リーフレット、ワークシート⑤

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 5分	○本時は「理想の自動車」を設計するために、自分の調べた自動車について発表をすることと、他の課題を調べた友達の発表を聞き、その特徴を知ることであることを確認する。 ・理想の自動車とは? 環境にやさしい、だれにでも運転できる、安全・・・、これらを総合したものである。 そのために、友達の発表を参考にしよう。	・他の自動車の良さを理解し、それを生かして理想の自動車をつくっていくことを確認する。 ・本時の学習では発表をすることよりも他の課題を調べた友達の発表をよく聞き、そこから学ぶことの方が重要であることをおさえる。 ・発表を聞き、自分の自動車に取り入れたいと思うことをワーク	

分		シート⑤にまとめることを確認。(同一課題でも参考になれば書くように指示をする)	
調 べ る 30 分	3つのグループに分かれ ○自分の自動車の説明をする。 ○友達の自動車の説明を聞く。 ○友達の自動車の良さをワークシート⑤にまとめる。 環境の発表・・質問、まとめ 福祉車両の発表・・質問、まとめ 安全の発表・・質問、まとめの順に進める。	<ul style="list-style-type: none"> 学習形態 環境にやさしい自動車、福祉車両、安全な自動車それぞれを3グループに分けて話し合いを進めるようにする。 分からない部分は質問をするようにする。(答えられない場合には、一緒に考えるなど、ともに良いものを作り出していこうとする態度を育てたい。) 期間巡視をし、いくつかの作品を全体に紹介して、他のグループの児童の作品も意識できるようにする。(興味がある事項については次時に説明してもらうように勧める。) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の自動車と他の自動車との共通点や相違点に気づき、理想の自動車について考えを深めることができる。(思)
ま と め 10 分	○今日の話合いの結果を基にして、次には、理想とする自動車を考え出していくことを確認する。 ○今日の学習を振り返る。 今日学習したことはよかった悪かったか。それはなぜかを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの後の感想を書くようにする。(見通しとかかわって) 	

本時の学習 第10、11時

(1) ねらい

これからの自動車について、自動車社会の今日的な課題を考慮して考え、リーフレットに表現する。

(2) 準備

リーフレット、リーフレット作成用カード、糊、はさみ、ワークシート⑥

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つ か む 5 分	○本時は、理想の自動車を設計してリーフレットの3枚目に表現していくことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分で調べたことと話し合った結果をもとに、近い将来実現の可能性があることを条件として、自分の理想とする自動車を設計し、リーフレットの3枚目に表現していくことを知らせる。 	
調 べ る	○自分で調べたことと、友達の発表を聞いて分かったことを統合しながら、理想の自動車を設計し、リーフレットの3枚目に表現する。	<ul style="list-style-type: none"> これからの自動車社会に必要なものは何かについてもよく考えようになりたい。 今までの学習を十分に生かして設計できるように支援する。 10年後には実現が可能だと思われる範囲で考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の調べたことや友達の発表、自動車社会の今日的課題を踏まえて理想の自動車を考えることができる。

80分		ようにする。 ・今日的な課題を解決するのに逆行するような案があった場合には、もう一度考え直すように支援する。	(思) ・考えた自動車を、工夫して効果的に表現できる。 (表)
まとめ 5分	○出来上がったリーフレットを、家の人やアンケートに協力してくれた人などに発信して、意見やアドバイス、感想をもらうことを確認する。 (ワークシート⑥)	・なるべく年齢層などの異なる多くの人に発信して、意見やアドバイス、感想をもらえるようにしたい。 ・本校職員にもお願いしたい。	

※出来上がったリーフレットはいろいろな人に見てもらい、意見やアドバイス、感想をもらう。
ワークシート⑥

本時の学習 第12

時

(1) ねらい

- ・もらった意見やアドバイスに対して感想をもつことや、友達の自動車を評価することを通して自分の考えを深める。
- ・学習を振り返り、知識や考えを生かしていこうとする意欲をもつ。

(2) 準備

作成したリーフレット、ワークシート⑥⑦

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援と留意点	評価
つかむ 10分	○発信した後にももらった意見やアドバイスを読み、その感想を書く。 (ワークシート⑦)	・感想が持てない児童には、評価されている部分を具体的に指摘し、自信をもてるようにする。 ・アドバイスに対しては、さらに良くするための意欲がもてるように支援する。	・意見やアドバイスに対して自分の考えをもつことができる。 (思)
追究する 25分	○友達とリーフレットを見せ合い、評価し合う。	・友達の自動車のよい点を見つけられるように支援する。 ・アドバイスができるようならしてもよいが、作品の出来映えではなく、設計した自動車について、建設的なアドバイスになるように留意する。	・ともだちの自動車の良い点を見つけることができる。 (思)
まとめ 10分	○「自動車をつくる工場」を学習しての感想を書く。(ワークシート⑦)	・これまでの学習を振り返り、これらの学習を今後どのように生かせるかについて考えられるようになる。 (児童がすぐに自動車選びにかかわることはないと思われるが、ここで学んだ「人々の努力や工夫」また、「環境」「安全」「福祉」などにも目を向けられるようにしていきたい)	・知識や考えを生かしていこうとする意欲がもてる。 (関)

Startの工場は...

工場

とそうはほごりのはいらないところで**4回**。
とそうの時、ほごりなどがはいるときたなくなります。どすのどほごりのはいらないところでいいねいに、4回ぬります。

きけんなところはロボットにまかせる。火花があたり気陰なところは、ロボにまかせます。作業員は、安全な戸所でこわれていないか、みます。

働く人

クリーンで作業しやすい。空気もキレイにしています。また台の高さラインの速さなどもちょうせつしています。




きんむ時間も交代交代たい。
朝から夕方からの二つにわかれて、1休けいもとります。

食事もおいしくてけんこうなもの！
みはらしのよい所でおいしくてけんこうな食事ができます。

環境

ゴミ分別リサイクル
ゴミは分別してリサイクルできるものはしています。ゴミ分別は9種類別々にしています。リサイクルも心がけています。

はいきガス・よごれた空気よごれた水はキレイにします。よごした空気水はキレイにします。環境にもやさしいのです。操業もうえています。



ボクは
バガス

ボクは
ボクは

ボクは
ボクは

足の不自由な人や車いすの人でも

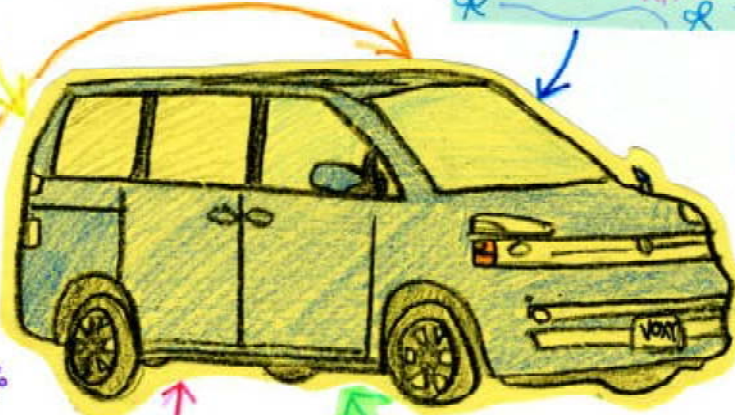
気軽に乗れる! 福祉車両!

運転しやすい車!!

車いすの人
でも、そのまま
乗ることが
できます。



専用車いすにすわ
たまま電動操作に
よって、助手席スペースに
乗りこむことができ
ます。助手席は、専用
車いすの席となります。

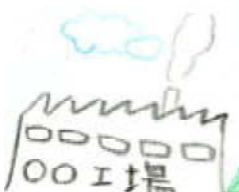


助手席が回転
して、高い者
の人たちや足の不自由
な人を乗せて、電動
で昇降します。
また、二列目左側
シートも回転します。



足の不自由な人が
手だけで運転で
きるように、ハンドル
やグリップ、ブレーキ、
アクセルなど、手で
できるようになって
います。

福祉車両は
お客様の要望に
合わせて作っています。



児童のリーフレット作品例(3枚目 理想の自動車について)

